

## 60分でわかる新約聖書(2) 「マルコの福音書」

### 1. はじめに

#### (1) マルコの福音書の位置づけ

- ①マルコの福音書は、最も短い福音書である。
- ②マルコ書の内容の約90%が、マタイとルカにも含まれている。
- ③4世紀から19世紀に至るまで、学者たちはマルコを重視して来なかった。
- ④19世紀末から、マルコが最初に書かれた福音書だという認識が広まった。
- ⑤福音書は、単なるイエス・キリストの伝記ではない。
- ⑥4人の著者たちは、ある読者を想定し、その必要に答えるために執筆した。
- ⑦マルコの視点は、牧会者のそれである。

\*信仰に入って間のないローマ人クリスチャンを励ますために書いた。

\*キリストの弟子として生きることを教えるために書いた。

#### (2) 著者と執筆年代

- ①初期の教会教父たちは、マルコが著者であると証言している。
- ②使12:12

Act 12:12 こうとわかったので、ペテロは、マルコと呼ばれているヨハネの母マリヤの家へ行った。そこには大ぜいの人が集まって、祈っていた。

- ③彼の母は、初代教会の指導者のひとりで、エルサレムに家を持っていた。
- ④彼は、バルナバのいとこであった(コロ4:10)。
- ⑤また彼は、ペテロの同労者でもあった。

1Pe 5:13 バビロンにいる、あなたがたとともに選ばれた婦人がよろしくと言っています。また私の子マルコもよろしくと言っています。

- ⑥執筆年代は、紀元55~59年頃であろう(紀元70年以前)。

### 2. アウトライン: マルコの福音書の特徴

- I. イエスの行動の強調
  - II. 目撃者の証言
  - III. 十字架と復活に向って進むイエス
  - IV. イエスの弟子であることの意味
- 結論

マルコの福音書について学ぶ。

#### I. イエスの行動の強調

1. イエスの教えよりも行動が強調されている。

(1) 18の奇跡が記録されている。

①たとえ話はわずか4つである。

(2) 長い説教は、わずか1つである。

①マコ13:3~7 オリーブ山の説教

(3) 「教えられた」という表現が繰り返し出て来るが、内容は書かれていない。

①マコ1:21

**Mar 1:21** それから、一行はカペナウムに入った。そしてすぐに、イエスは安息日に会堂に入って教えられた。

②マコ1:39

**Mar 1:39** こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、その会堂に行き、福音を告げ知らせ、悪霊を追い出された。

## II. 目撃者の証言

1. 表現が非常に生々しい。

(1) ペテロが情報源になっている。

①マコ2:4

**Mar 2:4** 群衆のためにイエスに近づくことができなかったので、その人々はイエスのおられるあたりの屋根をはがし、穴をあけて、中風の人を寝かせたままその床をつり降ろした。

②マコ4:37~38

**Mar 4:37** すると、激しい突風が起り、舟は波をかぶって、水でいっぱいになった。

**Mar 4:38** ところがイエスだけは、ともものほうで、枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして言った。「先生。私たちがおぼれて死にそうでも、何とも思われませんか。」

(2) 自分を登場させている。

①マコ14:51~52

**Mar 14:51** ある青年が、素はだに亜麻布を一枚まとったままで、イエスについて行ったところ、人々は彼を捕らえようとした。

**Mar 14:52** すると、彼は亜麻布を脱ぎ捨てて、はだかで逃げた。

2. 文学的な文章ではなく、日常会話に近い平易なギリシア語である。

(1) 歴史的現在形という時制が頻繁に用いられている。

①150回以上

(2) 「すぐに」(ユーセイ)が42回出て来る。

①マコ1:10

**Mar 1:10** そして、水の中から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下られるのを、ご覧になった。

②マコ1:17~18

**Mar 1:17** イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

**Mar 1:18** すると、すぐに、彼らは網を捨て置いて従った。

③マコ1:21

**Mar 1:21** それから、一行はカペナウムに入った。そしてすぐに、イエスは安息日に会堂に入って教えられた。

### Ⅲ. 十字架と復活に向って進むイエス

1. ピリポ・カイザリヤでのペテロの信仰告白以降、イエスは十字架に向って進まれた。

(1) ピリポ・カイザリヤ→ガリラヤ→エルサレム

①マコ8:31

**Mar 8:31** それから、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日の後によみがえらなければならないと、弟子たちに教え始められた。

②マコ9:33

**Mar 9:33** カペナウムに着いた。イエスは、家に入った後、弟子たちに質問された。「道で何を論じ合っていたのですか。」

③マコ10:32

**Mar 10:32** さて、一行は、エルサレムに上る途中にあった。イエスは先頭に立って歩いて行かれた。弟子たちは驚き、また、あとについて行く者たちは恐れを覚えた。すると、イエスは再び十二弟子をそばに呼んで、ご自分に起ころうとしていることを、話し始められた。

(2) 最後の1週間の記録が全体の約36%を占める。

①エルサレム入城(マコ11:1~11)

②復活(マコ16:1~8)

### Ⅳ. イエスの弟子であることの意味

1. イエスが神の子であることが強調されている。

(1) 冒頭の聖句は、系図ではない。異邦人は系図に興味を持たない。

①マコ1:1

**Mar 1:1** 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。

(2) 父なる神がこれを承認した。

①マコ1:11

**Mar 1:11** そして天から声がした。「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」

②マコ9:7

**Mar 9:7** そのとき雲がわき起こってその人々をおおい、雲の中から、「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい」という声がした。

(3) 悪霊もこれを認めた。

①マコ3:11

**Mar 3:11** また、汚れた霊どもが、イエスを見ると、みもとにひれ伏し、「あなたこそ神の子です」と叫ぶのであった。

②マコ5:7

**Mar 5:7** 大声で叫んで言った。「いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのですか。神の御名によってお願いします。どうか私を苦しめないでください。」

(4) イエスもこれを認めた。

①マコ14:61~62

**Mar 14:61** しかし、イエスは黙ったままで、何もお答えにならなかった。大祭司は、さらにイエスに尋ねて言った。「あなたは、ほむべき方の子、キリストですか。」

**Mar 14:62** そこでイエスは言われた。「わたしは、それです。人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るはずです。」

(5) ローマ人の百人隊長もこれを認めた。

①マコ15:39

**Mar 15:39** イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、「この方はまことに神の子であった」と言った。

(6) その他の証拠

- ①権威ある教え
- ②病を癒す権威
- ③悪霊に対する権威
- ④自然界を支配する権威

⑤死に打ち勝つ権威

2. 弟子たちの理解が遅いことが強調されている。

(1) 個人的な教えを受けながら、理解が進まなかった。

①マコ4:13

**Mar 4:13** そして彼らにこう言われた。「このたとえがわからないのですか。そんなことで、いったいどうしてたとえの理解ができませんよう。」

②マコ8:17~21

**Mar 8:17** それに気づいてイエスは言われた。「なぜ、パンがないといって議論しているのですか。まだわからないのですか、悟らないのですか。心が堅く閉じているのですか。」

**Mar 8:18** 目がありながら見えないのですか。耳がありながら聞こえないのですか。あなたがたは、覚えていないのですか。」

**Mar 8:19** わたしが五千人に五つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを取り集めて、幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「十二です。」

**Mar 8:20** 「四千人に七つのパンを裂いて上げたときは、パン切れを取り集めて幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「七つです。」

**Mar 8:21** イエスは言われた。「まだ悟らないのですか。」

(2) イエスが一番教えたかったのは、「苦難のしもべ」というメシア像である。

①マコ10:45

**Mar 10:45** 人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

\*イザ52:13~53:12の預言の成就

②イエスは栄光の王として戻って来られるが、その前に受難のしもべとして父なる神の御心に忠実に歩まれる。

③弟子たちには、理解するのが難しかった。

結論

1. マルコの福音書の執筆目的は、牧会的なものである。

(1) ローマのクリスチャンたちはすでに福音を信じていた。

①ロマ1:8

**Rom 1:8** まず第一に、あなたがたすべてのために、私はイエス・キリストによって私の神に感謝します。それは、あなたがたの信仰が全世界に言い伝えられているからです。

(2) 彼らは、困難な状況の中で、自らの信仰内容を再確認する必要があった。

①特に、イエスの弟子であることの意味を再確認する必要があった。

②そのために、イエスの行いと教えを学び直す必要があった。

③読者は、12使徒と自分を重ね合わせてこれを読むことを期待されている。

④マコ8:34~35

**Mar 8:34** それから、イエスは群衆を弟子たちといっしょに呼び寄せて、彼らに言われた。

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

**Mar 8:35** いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音とのためにいのちを失う者はそれを救うのです。

2. マルコ自身も、イエスの弟子として成長した。

(1) 第一次伝道旅行で、マルコは、バルナバとサウロの助手として奉仕した。

①第二次伝道旅行で、マルコを参加させるかどうかで論争が起こった。

②結果的に、2つの伝道隊が誕生した。

(2) パウロは晩年になって、マルコの奉仕を評価するようになった。

**2Ti 4:11** ルカだけは私とともにおります。マルコを伴って、いっしょに来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

3. パウロは、マルコの福音書のテーマをこのように要約している。

(1) ピリ2:3~11

**Php 2:3** 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。

**Php 2:4** 自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。

**Php 2:5** あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。

**Php 2:6** キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、

**Php 2:7** ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、

**Php 2:8** 自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

**Php 2:9** それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。

**Php 2:10** それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、

**Php 2:11** すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。